

## 各位

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、3月11日に発生した東日本大震災において、宮城県でも広範囲に渡り大きな被害を被りました。

特に、太平洋沿岸部においては、大津波による多くの死者と行方不明者が発生し、今なお捜索活動が続けられております。

また、家屋の倒壊や流出により、仮設住宅での避難生活を余儀なくされている現状を見ますと、長期的な支援対策が不可欠であります。

畜産関係におきましては、家畜・畜舎等の流失をはじめ、震災直後の停電・飼料・燃料不足による凍死や餓死など悲惨な状況でした。

福島第一原発の放射能漏れ事故では、汚染稲わらの給与に端を発し、牛肉から放射性セシウムが検出され、約1ヶ月間にわたり肉牛が出荷停止となりました。現在、出荷停止は解除されたものの、繁殖牛や乳牛の廃用出荷や汚染稲わらの隔離保管、そして汚染堆肥の処理問題など、まだまだ大きな課題が山積しております。

この様な状況下におきまして、ご厚志を賜りました義援金につきましては、去る11月24日の「義援金配分委員会」での決定を基に、12月14日から被災されました県内205件のうち、公所・団体・企業を除く畜産農家143名（酪農23戸、肉用牛70戸、養豚9戸、養鶏38戸、養蜂3戸）に対し義援金をお贈りしました。

今後とも、宮城県並びに畜産関係団体等が一丸となって畜産農家の支援指導に取り組んで参る所存ですので、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具

平成23年 12月

社団法人 宮城県畜産協会

会長 菅原章夫

東日本大震災で被災した畜産農家に対する義援金を  
お寄せいただいた皆様

義援金総額 17,874,961円

- 1 一般社団法人 都道府県畜産振興協議会 様
- 2 一般社団法人 畜産生産者団体協議会 様
- 3 社団法人 宮崎県家畜改良事業団 様
- 4 社団法人 ジェネテイクス北海道 様
- 5 社団法人 神奈川県養豚協会 様
- 6 奈良県大和牛流通推進協議会 様
- 7 オオクシ ハツエ 様
- 8 JAいわでやま 酪農部会 様
- 9 東日本大震災復興有志の集い 様
- 10 みやぎ復興ジュニアショウ実行委員会 様
- 11 (有) ホースシュー 様

その他、上記各団体等を通じ多数の皆様よりお寄せいただい  
ております。

平成23年12月 現在